

## 令和7年度事業計画書

新型コロナウイルス感染症の発生が落ち着きを取り戻した中、昨年末から影を潜めていたヒトの季節性インフルエンザやマイコプラズマ肺炎の驚異的な患者数の増加で、この3つの感染症が同時に流行するトリプルデミックと呼ばれる状態が続いた。一方、家畜衛生分野では、近年、北海道でヨーネ病やサルモネラ症、牛伝染性リンパ腫、高病原性鳥インフルエンザの発生が継続して報告されており、最前線で活動されている獣医師は気の抜けない毎日となっている。天然痘や牛疫の撲滅を契機に、感染症は過去の病気と考えていた我われ人類に対して、病原微生物は嘲笑っているようである。

このような背景の下、北海道獣医師会は定款にある目的達成に向けて、様々な活動を実践している。特に令和7年度も昨年に引き続き、人獣共通感染症対策や薬剤耐性菌対策を中心としたワンヘルスに関する活動を強化することを考えている。まず、昨年初めて取り組んだ「北海道ワンヘルスフェア 2024」をさらに発展させ、会員のみならず広く道民の皆様にワンヘルスの理解の醸成に努力しようと考えている。また、関連団体との関係においても、北海道医師会や北海道歯科医師会との連携シンポジウムを開催し、さらに連携を強化したい。ワンヘルスの中でも我われ獣医師が重責を担っているものに狂犬病対策がある。昨年度は不十分であった狂犬病予防注射事故対策要領の見直しを10年ぶりに実施した。その要点は、副反応の対象を明確化し、治療費を現在の水準を参考として見直したことである。また、注射前に狂犬病の概要や副反応の発生状況に関してインフォームドコンセントを徹底することにしたことである。今年度は改正した予防注射事故対策の徹底を図りたいと考えている。

北海道獣医師会館の改築を契機に、情報発信機能の強化方針を述べてきた。ようやく準備が整いつつあり、今年度は会員や一般市民にとって分かりやすいホームページの改修と、SNS等を利用した情報提供を実践したいと考えている。

一方、全国的に獣医師会の会員数が減少傾向にあり、組織活動の推進に影響が及んでいる。最大規模を誇る北海道獣医師会も例外とならず会員の維持・増加対策に苦慮している。特に35歳以下の年齢層や、女性獣医師の会員数が少ないことが問題となっている。獣医系大学での特別講義等で獣医学生に対して獣医師会の活動内容や、会員となることのメリットを広報することに務めているものの、残念ながら会員数の増加に結びついていない。また獣医系大学の入学者動向からも、今後は女性獣医師が各分野で増加することは明らかであり、女性獣医師が働きやすい環境、すなわち全ての獣医師が働きやすい環境の整備にも取り組みたいと考えている。会員にとって魅力ある活動に関して、執行部として新たな取組みを考えるとともに、会員の方々からも様々な企画や忌憚のないご意見を頂きたい。

以上の重点対応活動を踏まえて、以下の通り、令和7年度の事業計画を策定した。

## 【事業計画】

### I 公益目的事業

#### 1. 獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

獣医学及び獣医療の最新の研究成果、優れた診療実績等を共有し、獣医師全体の技術向上を図り、それらの成果を社会に還元する。

##### (1) 令和7年度北海道地区学会及び第74回北海道獣医師大会の開催

令和6年度は北海道大学および京王プラザホテル札幌で対面開催を行った。令和7年度は道東4支部の協力を得て開催する予定である。

日時：令和7年 8月28日(木)・29日(金)

会場：帯広畜産大学、ホテル日航ノースランド帯広

##### (2) 北海道獣医師会雑誌の発行と充実

北海道獣医師会雑誌(以下北獣会誌)は、月1回の発行を継続し、獣医学術の振興・普及のため、総説、原著論文、研究紹介等学術専門情報媒体として充実を図り、特に北海道地区学会での優秀論文投稿を依頼している。代議員会・理事会報告、会員の職場紹介、講習会等の諸行事案内、本会・地区獣医師会の活動報告、獣医師募集等情報提供の媒体としても一層の充実を図る。また、総説、原著論文等については、北獣会誌掲載のみならず、北海道獣医師会ホームページで北獣会誌購読者以外にも広く閲覧できるようにする。なお、将来的にWEBによる雑誌の配信をするための検討を開始することとする。

##### (3) 国際交流の推進

姉妹提携を結んでいる韓国の慶尚北道獣医師会をはじめとして、国際交流について、海外悪性伝染病の発生状況を鑑みながら交流を深めたい。

##### (4) 講習会の開催

ア. 本会主催の講習会は支部との共催も含め、対面形式とWeb形式を併用しながら開催を計画する。

イ. 地区獣医師会主催の講習会にも協力して、道内会員が広く参加できる講習会を開催する。講師が許可した場合は、地区獣医師会で開催した内容を本会ホームページから動画配信することも検討する。

#### 2. 人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

人と動物の共通感染症の予防等、One Healthの考え方に基づきその考え方を一般市民に普及啓発するとともに、公衆衛生や家畜衛生に関する事業並びに動物の愛護・福祉の増進、野生動物の保護に関する事業を推進し、人と動物が共生する豊かで健全な社会環境の発展に貢献する。また、災害時における動物救護に対応できる体制を備えておく。

### (1) 狂犬病予防注射事業の推進

- ア. 狂犬病予防注射業務については、地区獣医師会に本会委任獣医師による注射実施体制を整備し、市町村担当部署と協力の上、責任をもって適正に実施する。
- イ. 狂犬病予防注射実施率の向上を図るため、道主務課及び各振興局・市町村との連携や会員動物病院において狂犬病の脅威を啓発し、犬飼養者への注射励行を図るとともに、市民向け啓発イベント開催する。
- ウ. 狂犬病予防注射業務における事故防止のため、副反応に係る確認書を見直した。注射前に必ず犬飼養者に説明してから接種を受けるよう、注射時に啓発チラシと確認書を犬飼養者に配布する。事故が生じた場合には、一部改正を行った「北海道獣医師会狂犬病予防注射事故対策要領」に基づいて迅速に対処する。

### (2) 動物の愛護・適正管理の推進

- ア. 北海道や政令市主務課等と連携し、動物の愛護と適正な管理について啓発を進め、動物愛護週間を中心に地区獣医師会で行っている諸行事に協賛する。動物虐待・多頭飼育の問題に対しては行政・種々の団体と協力し対応する。
- イ. 所有者が判明しない負傷犬猫等に対し治療を行う負傷動物保護事業は北海道・政令市等や会員動物病院等の協力を得て引き続き実施する。また、北海道・市町村・民間動物愛護団体等との広域的な連携のもと、所有者のいない犬猫の新たな飼養者への譲渡を図り、犬猫の殺処分減少に努める。
- ウ. 災害時の動物救護に掛かる獣医師派遣、啓発等を行う。

### (3) 市民フォーラム・公開講座等の開催

- ア. 一般市民向けの市民公開講座・シンポジウム・出前講座等を地区獣医師会と協力して開催し、より一層の情報発信に努める。One Health に関しては、(一財)札幌市産業流通振興協会(アクセスサッポロ)と共催して一般市民向けのフェアを昨年度に引続き開催する。
- イ. 一般社団法人北海道医師会と締結した学術協力の推進に関する協定書に基づき、医師会との連携による会員と一般市民向け公開シンポジウムを開催する。  
日時：令和7年4月12日(土)14:00~16:00  
場所：北海道医師会館 8階会議室  
テーマ：「備えよう新たなダニ媒介性人獣共通感染症：SF TSの脅威」
- ウ. 狂犬病等、海外悪性伝染病の正しい知識について、一般市民への啓発に努める。
- エ. 北海道動物愛護センターおよび札幌市円山動物園等と連携し、野生動物保護や動物愛護等に関する講演会を引き続き開催する。

### (4) 野生動物保護の推進

- ア. 人と動物の調和のとれた共生社会を目指し、動物の福祉増進のため野生希少種動物の保護活動に努めるとともに、道環境審議会自然環境部会の委員として参画し意見を述べ、関係団体と協力し動物愛護管理推進計画の推進に協力する。

イ. 北海道と連携して実施している野生傷病鳥獣の保護・治療について、会員動物病院等の協力を得て引き続き実施する。

#### (5) 災害時の動物救護活動

ア. 予期せぬ災害が発生時には発生地域の支部長・災害時動物救護対策委員を中心に対応する。また、北海道及び政令市等と締結した「災害時における動物救護活動に関する協定」に基づき、行政・関係機関等と連携し災害時対策を実行する。

イ. 災害直後の動物救護にあたる専門的訓練を受けた機動性の高い災害派遣獣医療チーム（北海道 VMAT）の設立と必要に応じた講習会等を開催する。

#### (6) 悪性家畜伝染病の防疫活動

口蹄疫・ASF等の海外悪性伝染病の本道への侵入や拡大を阻止するため、関係機関等と協力し防疫体制強化に努め、家畜衛生及び畜産業の振興に支援するとともに、これらに関する最新情報を会員に周知する。

## II 収益事業

### 1. 不動産の貸付事業

北海道獣医師会が所有する北海道獣医師会館の適正管理に努める。会館の入居団体に係る貸室と会議室の貸付を引続き行う。

### 2. 共同購入事業

業務上必要とする物品（診断薬・各種様式印刷物・徽章等）を一括購入し、領付する。

## III その他の事業

### 1. 福利厚生事業

#### (1) 福利厚生事業

福利厚生事業として、弔慰金・病気見舞い等を福利厚生規程に基づき実施するとともに、獣医師福祉共済事業の推進、特に獣医師損害賠償責任保険について加入促進を図る。

#### (2) 獣医師求人情報の提供

職域偏在による獣医師不足解消に向けて、離職や退職等により獣医事に従事していない獣医師の活躍が望まれる。北獣会誌及び北海道獣医師会ホームページを活用し、求人情報の提供を行う。

## 2. 受託事業等

### (1) 狂犬病予防注射済票交付事業

道内 173 市町村からの委託により、犬飼養者の便宜のため狂犬病予防注射時に注射済票交付を行う。

### (2) 犬の登録及び鑑札交付事業

道内 5 市からの委託により、犬飼養者の便宜のため狂犬病予防注射時に犬の登録受付け及び鑑札の交付を行う。

### (3) 動物愛護週間における啓発活動

動物愛護週間に地区獣医師会等が主催・共催する「動物愛護フェスティバル」を支援する。

### (4) 海鳥等保護対策事業

今後も行政および関係団体と連携して、環境保護事業を継続していく。

## 【会務運営計画】

### (1) 組織基盤強化

13 支部、職域及び専門部会と連携し、事業の推進を進めるとともに、会員の加入促進をはかり組織基盤の強化を図る。将来検討特別委員会で調査等実施しながら対応策を協議し、情報発信の強化を図りつつ事業化を推進する。

### (2) 北海道獣医師会の財政基盤強化

加入率の向上対策を行うとともに、賛助会員への加入促進と公益法人への寄附税制を活かした寄附金依頼を北獣会誌で継続する。財政基盤の安定化を北海道獣医師会の活動確立の原点とする。

### (3) 女性獣医師の就業環境の整備と就業促進

女性獣医師が半数を占める時代を見据え、日本獣医師会と連携し、女性獣医師の役員登用およびより一層活躍できる環境づくりを検討する。

### (4) 産業動物及び公務員獣医師の確保

北海道獣医師連盟と連携し、産業動物及び公務員（含む市町村採用）獣医師の確保に係る処遇改善等を関係機関に求めていく。

### (5) 広報活動の推進

情報化社会に対応し、獣医界・獣医師会活動を広く一般に知らせるとともに、会員にとっての魅力ある事業の提供と相互の連携のため、SNSの活用および北海道獣医師会ホームページを通して情報発信をさらに充実強化する。

### (6) 獣医師倫理の高揚

獣医師は社会的にも様々な活躍が期待されている。それらのニーズに応えるために北海道獣医師会倫理規程に基づいて活動する。

### (7) 動物診療現場におけるインフォームドコンセントの徹底

動物診療においては、インフォームドコンセントを重視し、飼養者との信頼関係を強化する。動物診療に係る問題提起には、適切な対応に努める。